

府民のくらしも府財政もたいへんな時だから

くらし支援と 財政再建の両立を

「維新プログラム案」は、住民に痛みを押しつけるだけで、「ハッピーパラダイスが待っているものではない」（橋下知事）というものです。「貧困と格差の拡大」でくらしが大変なときだからこそ、府民の生活の応援と財政再建をあわせてすすめるべきではないでしょうか。

まずやるべきは 税金のムダづかい ストップ

ムダな開発ストップで
これだけの財源が

箕面森町開発 160億円

安威川ダム 390億円

新名神連絡道路 471億円

同和行政終結で10億円以上

このあたりが森林のままの第3区域



箕面森町

手前が開発済みの第1区域

文化がこわされる
ことを懸念する

文化に対する理解ない

藤本義一さん

知事は文化について『種を植えば醸成するもの』と話しているが、そんな簡単なものではない。文化は歴史があってこそ成り立つもので相当な時間がかかる。

08年6月6日付「産経新聞」

「府立の施設と文化を考える府民の会」
梅田宣伝 ©大阪民主新報社

「橋下改革」では
文化は育たない

音楽評論家 日下部吉彦さん

自立していける文化もあるけれども、補助がなければ生きていけない文化もある。そしてその中には貴重な文化がいっぱいある。支える必要のあるところは手を差し伸べる。それを見極めるのが政治であり、文化行政です。

08年6月1日付「大阪民主新報」

なぜできたのか 5兆円の借金

大阪府の5兆円もの借金ができた原因の一つは、国が地方自治体への財源を削ってきたからです。もう一つは、歴代の「オール与党」府政が、財界の言い分を一番に聞いて「福祉よりも大型開発優先」で税金の浪費をつづけてきたことです。

歴代
「オール与党」府政が
責任重大の

借金を増やした
主な事業

関空2期工事 1140億円

りんくうタウン 1789億円

国際文化公園都市 312億円

国が削った大阪府の財源

(2003年と2007年との比較)

国からの税源移譲	+1280億円
国庫補助負担金の削減	-1715億円
地方交付金の削減など	-109億円
合計	-544億円

府民がねがうのは 大型開発・「同和」のムダづかい、国の地方いじめストップ くらしと中小企業を活性化する府政です

「真の敵」に挑み議論を 若菜英晴 毎日新聞社会部長

バブル崩壊後の国の景気対策に従った末に膨れた借金、補助金目当てに行われる無駄な公共事業、止まらない東京一極集中と進まない地方への税源・

権限移譲。そんな「大きな真の敵」に挑まずして、収入の範囲で支出先・額をきめる議論ばかりに目を奪われてはならない。08年6月6日付「毎日新聞」

負の連鎖を懸念 神野直彦 東京大学大学院教授

「地方財政悪化→財政引き締め→地域経済の萎縮→税収減」という負の連鎖が起きるのではないかと心配している。削減が全面に出て、中小企

業支援など経済活性化策も後回しの印象だ。地域経済の発展に結びつくようには見えない。08年6月6日付「毎日新聞」